

童

2015年11月25日.

暖かい日が続いた11月。大地の周囲のリンゴは、すっかり収穫され、いよいよ冬の装いを感じさせる季節となりました。霜が降りない11月。この季節、車のフロントガラスは、びっしり凍りつく日があるのに。今から27年前の長男が生まれた11月6日の早朝。陣痛が来てあわてて長野市の公営住宅前の道路に停めてあった車に乗り込み出発しようとする、フロントガラスにびっしりの霜。これが溶けるまでの時間が長かったことを覚えています。それが印象的ですから、この時期は霜が降りないと11月の気分になれません。

また、リンゴの収穫も無事終わりました。お祭り気分、親せき知人が一同に集まり、リンゴ畑でワイワイおやつを食べる光景は圧巻。何と言っても、米寿を迎えた父が、変わらずに梯子に乗り、りんごを採り、18キロ以上のリンゴコンテナを運び、中心になってワイワイ小言を言っている姿は、この1年無事に過ごすことができた、大晦日のような気分になります。明日から、青ちゃん姉ちゃんに連れられて、一週間たっぷり温泉保養に出かけます。

収穫取り入れの秋は、農家にとってはいかに元気に働けるか。無事収穫を終えるという事は、元気で健康であるという証拠です。本当に、家族が健康であることは嬉しい事です。

その元気をもらい、子ども達も元気いっぱい。昨日の大根の収穫では、半袖になって、1本2キロ以上もある巨大大根を持って、下から上がってきました。本当に良く働き、歩く子ども達です。きっと、米寿の父親のエネルギーが伝わっているのかもしれない。私も、大地の子ども達も、パワーいっぱい、ずっと過ごしていきたいですね。



【健康記念日11月29日】

11月は、初めて授かった長男の生まれた月という記念すべき月でしたが、昨年から様相が一変しました。月末の29日が、あの長崎での自転車転落事故の月となってしまったからです。

事故や災害などは、その人に起こるべくして起こるものであり、人生で不必要なレッスンはないと考える年齢になっていましたが、さすがに、数年前の火災と違い、身体的な痛みや不自由さがあっただけに、受け入れるまで少々時間がかりました。

病院で苦しみながら、誰かが「この事故で、青ちゃんは、長生きができるね」と言っていたという事を、耳にしました。また、「今回から学びを得ないと、運を使い果たしてしまうよ」という声も別の所から聞こえてきました。正直、死ななくてよかった、奇跡的に生きているだけで幸せだと思っていただけに、何もできないベッドの上で、じっくりとこの言葉の意味をかみしめる時間をもらいました。

そう言えば、今考えると、ぞっとするような運が良かったとしか言えない事故や怪我がありました。レッスンを含めて、思い返してみると

- ①高校生の時、家の手伝いで乗用トラクターを運転中、脱輪して転倒。後部のロータリーに首を挟まれる。奇跡的にエンジンが止まり、軽傷に終わる。奇跡！！
- ②何も知らないで、ただ行きたいだけでバイクで走り抜けたオーストリア真夏砂漠縦横断。熱さ、洪水、砂漠での故障奇跡的に生還！！
- ③24歳、夜遊びで明け方にバイクで帰宅。自宅近くのカーブを曲がりきれず、3メートル下の田植えを終えたばかりの田んぼに転落。かっこ悪いので、信じられない力を出して、田んぼからバイクをあげて、何事もないように帰宅
- ④遡って、小学校2年生ごろ、友だちと雪でかまくらを作り、中に炭を持ち込み餅を焼いた。外へ出ると、気持ちよくなり、雪の上で3時間ほど昼寝。今考えると、一酸化炭素中毒！！これも奇跡
- ⑤結婚してからは、しばらく安泰。妻との生活で幸せであり、無謀な事はしなかったのか
- ⑥大地建設。重機から建築、土木まで不慣れなことの連続であったが、事故や怪我につながることはなかったような気がする。これも、今考えると運が良かったのか
- ⑦野外教室のキャンプでへとへとに疲れた翌朝、軽自動車でも山道をパジャマで運転中、脱輪して、10メートル下の田んぼに向けて、横転。奇跡的に、半回転して止まる。下まで転がっていたらおしまいだった。さすがに、これ以来、慎重になる。そう言えば、キャンプ終了後、いつも点滴を受けていた。最近、似たことがありました。大地子ども祭り、やりきって充実感で2日間寝込む。クリスマスマーケット気をつけましょう。
- ⑧大地の木工作業中、数回、手や足を丸鋸で切ったり、ドリルで穴をあけたりして、緊急で病院にお世話になる。
- ⑨大地の裏山で、友人と木を伐採中。梯子をおさえていた自分の上から、伐採された木が落ちてきた。バウンドして腰に当たる。更に、続いて、人間が落ちてきた。雪があったので、友人は奇跡的に無事。私も、腰痛一週間で無事だった。
- ⑩そして、文庫火災。運よく気が付いて延焼を免れる。母屋、大地園舎が燃えずに本当に良かった。自分の人生最大の災害に遭遇。顔の半分をやけどをしたが、周囲の人たちや家族の励ましや支えで奇跡的に復帰これ奇跡
- ⑪そして、長崎自転車転倒事故。講演を依頼されたのに、エネルギーがそれよりも自転車を楽しむという方向に行っていたので、罰があたったのだろう。誠意がなかった自分を反省。やはり、真心を持って何事にも立ち向かわないと。一石二鳥、エネルギーを分散させてはいけない。

こう考えると、今こうして生きていることは、運が良かったか、奇跡に近いようです。しかし、人間の運は、限りがあるらしい。若い時に使い果たすか、それとも年をとってから使うか。老後を安泰に暮らす、安定した人生を過ごすか。もうすぐ、58歳。微妙な年齢になってきていますが、身体や気力が充実している時に、運を使ってきた自分の人生に後悔はありません。老後の安定を目指して中庸な人生を選択する自分はいませんでしたし、一度の人生、毎日を刺激的に、全力で楽しみ面白く生きようと歩んできた自分ですから。ひらめきや直感で面白い事が浮かんだ時、頭の中でそのプロジェクトマネージメントをして計画実行そして実現に移すことが得意特技であり、見通しと自信を持って、自己実現する人生を楽しんできました。

こんな中で、怪我や事故が起こる時のパターン、共通性を考えてみると

- ①一言「調子こいている時」「調子に乗っている時」「謙虚でなく傲慢になっている時」「いけいけになっている時」
- ②一石二鳥を狙っている時。エネルギーが分散している時。優先順位を間違えている時
- ③真心と誠意がこもっていない時
- ④いい格好しの時、見栄を張っている時

若さの特権として、いけいけでいく時代もありです。年を重ねるにつれて、だんだん身体的にも精神的にも不器用になってきます。ここからは円熟を目指すのでしょうか。発酵を終えたワインでしょうか。発酵は、外から見ればただじっとしているように見えますが、実は、全ての味を決めるために、すごいエネルギーが回っているのでしょうか。

11月29日 そんな意味で、身体的精神的な無事安全健康を考える 青ちゃん健康記念日です。